

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日							
調書番号	08-06	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之						
				担当係	河川計画係（内）29-323						
I 基本事項（基準日時点）											
事業種別	広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）										
ふりがな地区名	しゅぶとがわ 朱太川	市町村名	寿都町・黒松内町	総事業費	12,520 百万円						
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村	—	その他	—			
	6,886 百万円		5,634 百万円		— 百万円		— 百万円				
事業目的・目標	●朱太川は、日本海に注ぐ二級河川で、S50年(1975年)8月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。 ●このため、S52年(1977年)より当該計画区間（L=8.6km）の河川改修事業に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、寿都町柳岸地区、黒松内町南作開地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。										
	【アウトカム】等										
		●改修の目的とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 46戸→0戸 ●改修の目的とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 236ha→0ha									
事業概要	朱太川は、河口から8.6kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量	Q=1000m ³ /s	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
					前回評価	今回評価	増減額				
		計画延長	L= 8,600m								
		築堤工	L=14,250m	1,151	1,151		0				
		掘削工	L= 8,600m	3,432	4,030		598				
		護岸工	L= 8,985m	3,788	3,891		103				
		附帯工事									
		道路橋3橋等		380	380		0				
		測量設計費 調査・設計		2,320	2,858		538				
		用地費及補償費 用地買収・物件補償		210	210		0				
		計		11,281	12,520		1,239				
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名						
		生活・安全	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）						
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 (河川改修等の治水対策) 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。									
	関連する指標	-									
II 公共事業評価経過						(単位：百万円)					
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	S52(1977)	S52(1977)	H40(2028)			10,414	4,686			
	前回再評価	S52(1977)	S52(1977)	H40(2028)			11,281	5,076		9,710	86%
	今回評価			R5(2023)			R10(2028)	46	12,520	5,634	122
変更理由・内容(概要)		(1) 掘削方法の変更（生息環境保全に配慮した施工）による増額 (2) 環境モニタリング調査に係る調査設計増による増額 (3) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額									
III 事業採択前の状況											
1. 事業採択に至る経過と背景		● S50年(1975年)8月 浸水被害が発生（浸水面積1,125ha、浸水家屋765戸）									
2. 事業検討の手續（住民ニーズの把握等）		● S50年(1975年) 寿都町、黒松内町より道に河川改修の要望 ● S52年(1977年)4月 改修事業に着手									
3. 事業効果を及ぼす地域・対象		● 寿都町柳岸地区、黒松内町南作開地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積480ha（うち農地236ha）、浸水防止家屋46戸									
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容						

IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画														
施工(工種)区分	工事内容	S52	~	H9	H10	~	H29	~	R5	R6	~	R10	進捗状況	事業費(百万円)
築堤工	L=14,250m	L=14,250m				堤防天端舗装							100%	1,151
掘削工	L=8,600m			L=600m(暫定掘削L=4,050m)						L=8,000m			69%	4,030
護岸工	L=8,985m					L=8,446m				L=539m			92%	3,891
附帯工事	道路橋3橋等	道路橋3橋等											100%	380
測量設計費	調査・設計												88%	2,858
用地費及補償費	用地買収・物件補償												100%	210

(2) 進捗状況

栄橋までの整備、築堤工及び橋梁工が完了し、現在は暫定断面により整備を促進している。事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたって、特に大きな支障となるものはない。

a

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
項目	R5現在	項目	R5現在	
洪水被害防止効果	80,214	建設費	38,925	●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2)に基づき算出 ●効果は洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●効果及び費用は、R5(2023)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間で算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
		維持管理費	53	
合計(B)	80,214	合計(C)	38,978	
B/C	前回算定年度 : H30年度(2018年度)【再評価】 前回算定時B/C : 1.11 (合計(B): 30,627 合計(C): 27,507) 変更理由 :			
R5現在	・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。			

取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
施工の最適化	現地採取の表土を護岸の覆土へ利用	86
施工の最適化	工事で発生したコンクリート殻のごごマット等の中詰材への再利用	1

V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、寿都町樽岸地区、黒松内町南作開地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH24年(2012年)5月(農地36ha)などに浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。
	<p>a</p> <p>a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 魚類などに配慮し、現況河床や現況河岸を極力保全している。 ● 植生の早期回復を図るため、護岸などに現地採取の表土による覆土を実施している。 ● 朱太川連絡協議会において、漁業関係者と調整を図り工事を行っている。 ● 朱太川環境モニタリング懇談会において、河川掘削が河川環境に与える影響評価を行っている。 ※直近の評価以降における状況変化はない。
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向 <ul style="list-style-type: none"> ● 寿都町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。 ● 黒松内町から生物多様性に配慮した整備の要望が出されている。 ※直近の評価以降における状況変化はない。
	(3) その他の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし ※直近の評価以降における状況変化はない。

3. 事業達成の見込み	事業の必要性に変化はないほか、事業を推進する上での課題等もなく、前回評価から大幅に事業が進捗していることから、予定年度での事業達成が見込まれる。
a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和10年度(2028年度)の完成を目指し、事業継続する。					
	a	a: 継続	b: 終了	c: 休止	d: 中止	
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 再評価：平成30（2018）年度評価 評価結果：継続（変更なし） B/C=1.11
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

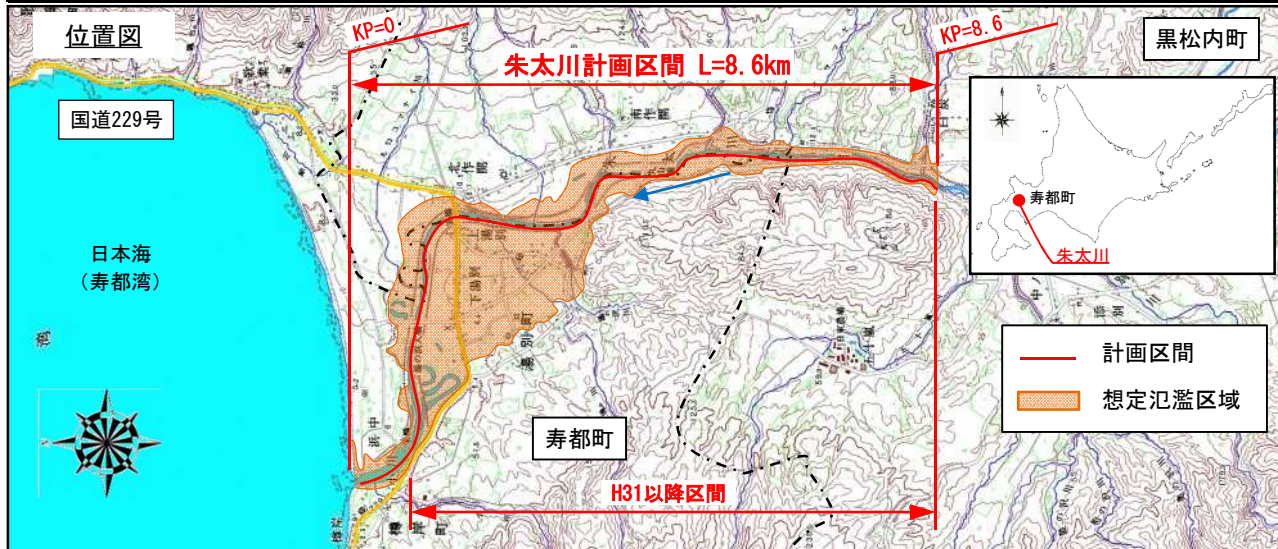
VII 事業計画変更

（単位：百万円）

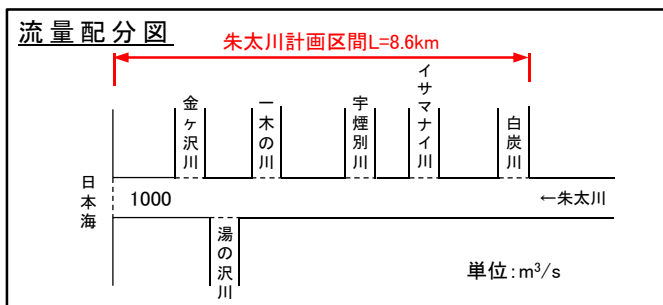
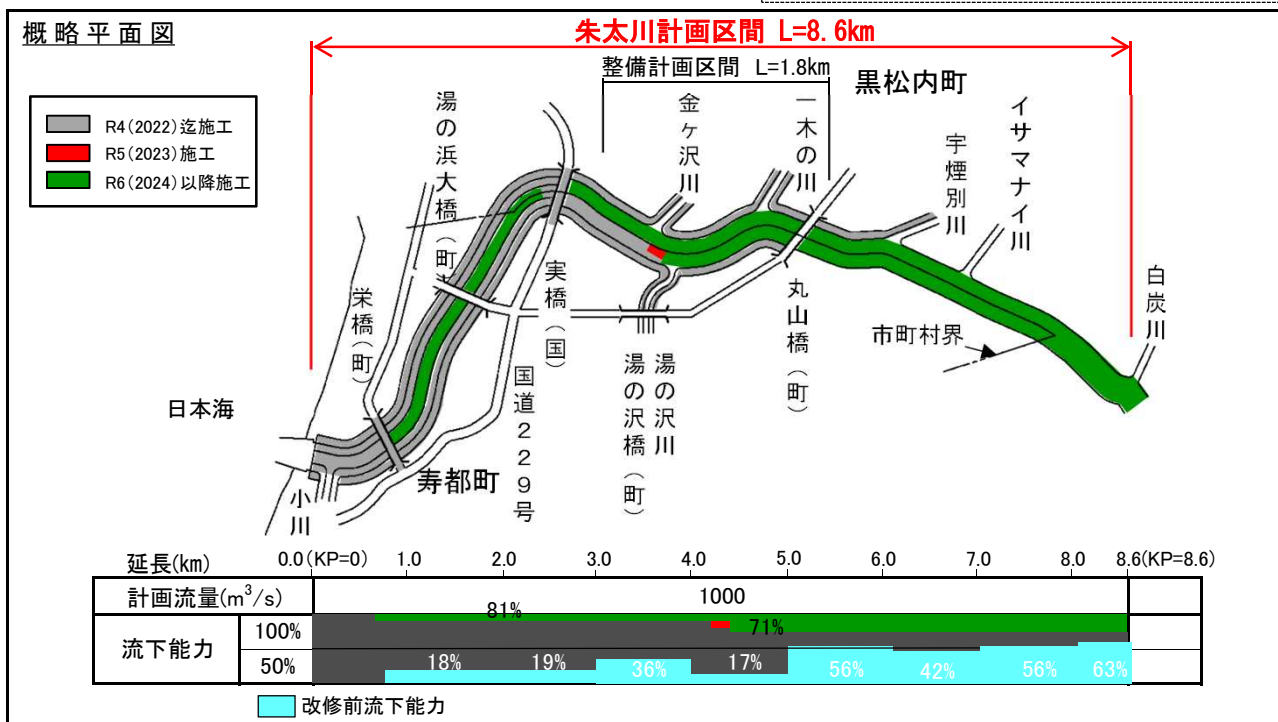
事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事 業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		S52 (1977)	S52 (1977)			H40 (2028)	46	10,414			
変更①	1回目			H15 (2003)	H15 (2003)	H30 (2018)		10,355			
変更②					H28 (2016)	H40 (2028)		11,056			
変更③	4回目			H30 (2018)	H30 (2018)	H40 (2028)		11,281			
変更④					R3 (2021)	R10 (2028)		12,015			
変更⑤	5回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R10 (2028)		12,520	122	10,609	85%
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容		<p>変更①：事業期間・総事業費の変更 ・事業費精査による減額 ・事業費減額による事業期間の短縮</p> <p>変更②：事業期間・総事業費の変更 ・危機管理型ハード対策としての堤防天端舗装を追加したことなどによる増額 ・環境モニタリング調査に時間を要すること、 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸</p> <p>変更③：総事業費の変更 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額</p> <p>変更④：総事業費の変更 ・環境モニタリング調査に係る調査設計増による増額 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額</p> <p>変更⑤：総事業費の変更 ・掘削方法の変更（生息環境保全に配慮した施行）による増額 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額</p>									

事業概要図

事業名	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	朱太川	採択年度	S52 (1977)
-----	----------------------------	-----	-----	------	---------------



※想定氾濫区域:事業着手時点の河道において、計画の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域
 国土地理院の数値地図50000(地図画像)「寿都、歌葉」を使用0.5



流域面積(km ²)	361.7
計画延長(km)	8.6
氾濫面積(ha)	480
計画雨量	178 mm/24hr
計画高水流量(m ³ /s)	1000
計画勾配	1/1800~1/900

